

# つながり

36

tsunagari

2024.3  
Spring

特集  
県北の急性期医療の要  
集中治療センター

特集



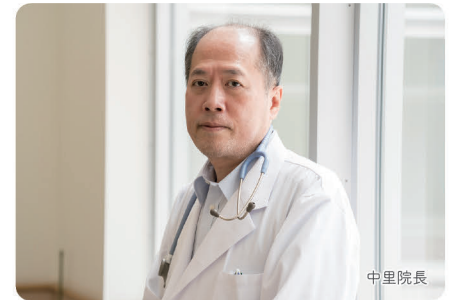
呼吸器ラウンドを行う臨床工学技士

## 地域の医療機関のご紹介

当院は、皆さんにとって身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

### 栗原市立若柳病院

〒989-5501  
宮城県栗原市若柳字川北原畑23-4  
TEL 0228-32-2335  
<https://www.wakayanagi-hp.jp>



中里院長



#### 地域の皆さんへ

当院は、昭和33年若柳町立国保病院として開院以来、栗原市はもちろん、登米市石越地区、岩手県一関市花泉地区の基幹病院として地域医療を担ってきた実績と伝統のある病院です。

現在、人口減少、少子高齢化とともに、地域医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが、当院は引き続き慢性期医療を中心に、在宅医療(訪問診療、訪問看護)、介護支援までを含めた包括的医療を提供して参ります。そして、地域の方々から愛され信頼され、地域社会に貢献できる地域密着型病院、すなわち気軽に受診・相談できる「かかりつけ病院」を目指し、全職員一丸となって頑張っています。

診療内容
内科・整形外科
受付時間(外来)
月～金 午前 8:30～11:00(初診) 8:30～11:30(再診)
休診日
土曜、日曜、祝日、年末年始



## みんなのパタ崎さん

patasakisan



本院にある非常用備蓄倉庫を見学したパタ～！  
ここには、災害がおきたときなどに、入院中の患者さんなどのために、3日分の食料が保管されているパタ！  
わかめごはんやカレーライス、肉じゃが、ハンバーグなど種類がたくさんあって、見ていたらお腹が空いてきたパタ…  
他にも、流動食やアレルギー食など、患者さんの状態に合わせた食材があったパタ。  
食料の消費期限は定期的にチェックをしているので、急な災害が発生しても安心パタ！

#大崎市民病院 #非常用備蓄倉庫 #非常食



# 県北の急性期医療の要 集中治療センター

県北の急性期医療の要である本院の集中治療センターは、特定集中治療病棟（SICU：外科系集中治療室）を有しており、地域のかかりつけ医から当院へ紹介された大手術後の患者さんや、病棟の急変患者さんを受け入れています。今回は、多職種で連携しながら多くの重症患者さんの治療にあたっている集中治療センターを紹介します。

## チームで治療

本院の集中治療センターは、平成26年6月に本院の移転とともに組織され、平成28年10月から特定集中治療病棟（SICU）の稼働が開始しました。歴史としては、平成5年1月に旧古川市立病院救急医療センターに特定集中治療室10床（ICU6床、CCU4床）を開設したことがはじまりです。

現在は6床で運用しており、新規入室患者さんを年間300〜400人ほど受け入れています。また、当院は年間約5000件を超える手術を行っており、その中の約300人程度が、大手術後に手術室から直結したSICUに入室しています。その疾患内訳は、およそ外科疾患が20%、心臓血管外科疾患15%、呼吸器外科疾患15%、脳神経外科疾患15%、その他重症の敗血症、呼吸不全、心不全、腎不全患者さんなどが35%程度入室します。

6床のうち、感染症や免疫不全の患者さんを治療するための隔離用陰陽圧室を2床有しており、人工呼吸管理が必要な新型コロナウイルス感染症の重症患者さんなどを受け入れています。そのほかには血液浄化療法装置、補助循環装置などを活用して治療にあたることもあります。

患者さんの治療は各診療科を中心とし、麻酔科医をはじめ各科の専門医がサポートしています。SICUに入室する患者さんは、24時間体制での厳重なモニタリング、心身ともに手厚い看護を必要とするため、集中ケア認定看護師2人を含め20人程度の看護師が配置されています。そのほかにも、臨床工学技士、理学療法士、



えんどう やすひろ  
遠藤 康弘  
集中治療センター 診療部長

## 集中治療センターと救命救急センター

当院には、患者さんの状態に合わせて適切な治療や看護を提供するため、本院の3階に集中治療センター・救命救急センター・手術センターが設置されており、患者さんやスタッフが行き来しやすい配置になっています。

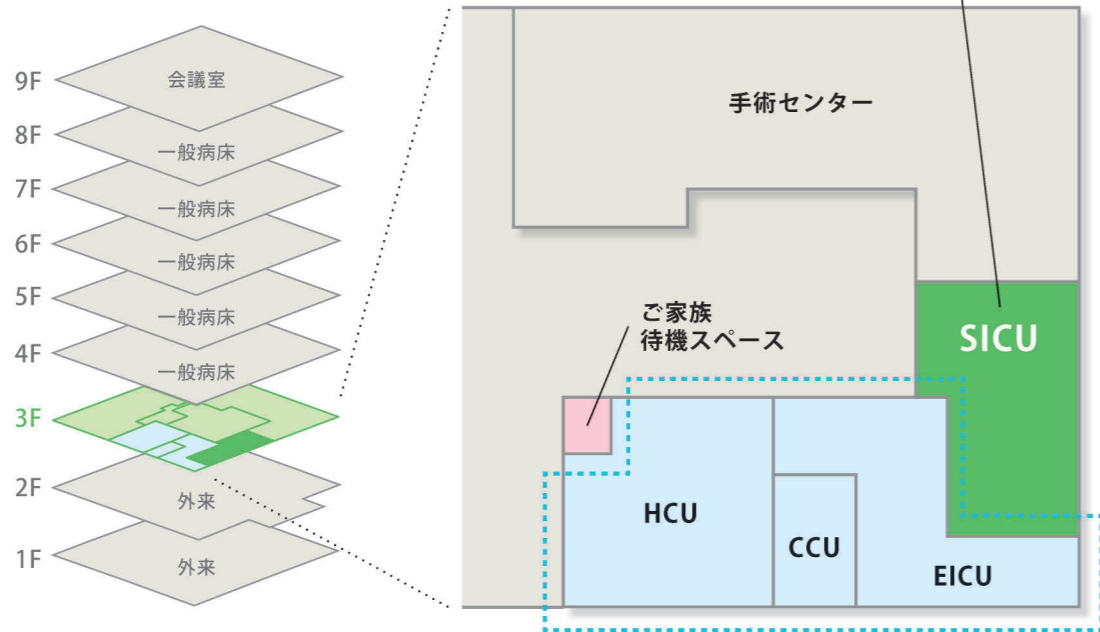
### 集中治療センター

#### 特定集中治療病棟

**SICU**: Surgical Intensive Care Unit (外科系集中治療室)

主に手術の後に集中治療が必要な患者さんが入室します。手術センターと直結しているため、手術後はスムーズに入室することが出来ます。

当院は、診療密度が高く充実した体制を有するICUとして、体制を整備しています。



### 救命救急センター

#### 救急病棟

**EICU**: Emergency Intensive Care Unit (救急集中治療室)

多発性外傷、重症呼吸不全、循環器疾患、脳神経疾患等の重症の患者さんが入室します。

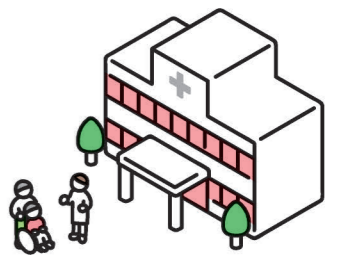
**CCU**: Coronary Care Unit (冠疾患治療室)

心筋梗塞や狭心症の患者さんが入室します。

**HCU**: High Care Unit (高度集中治療室)

集中治療を終えても一般病棟に移ることができない患者さんや、重症以外の救急患者さんが入室します。

4階南病棟には、**NICU**: Neonatal Intensive Care Unit (新生児集中治療室)があり、早産児・低出生体重児などが入室します。



## 質の高い看護

SICUは、入院中や手術後に集中治療が必要となる患者さんが対象となります。特に、予定手術を受けた患者さんに対し、潜在化しているリスクを予測しながら観察を行い、異常の早期発見と手術後の合併症予防のための看護を実践していくことが求められます。当院には集中ケア認定看護師2人が在籍し、スタッフの実践力向上につながる教育を支援しています。

また、ICUやHCUなどを退室し一般病棟へ移った患者さんに対しても、二次的合併症を予防す



すずき あきこ  
**鈴木 昭子**  
特定集中治療病棟  
副看護師長  
(集中ケア認定看護師)



さとう れん  
**佐藤 憂**  
特定集中治療病棟  
看護師  
(集中ケア認定看護師)

るためのケアを継続しています。高度医療の提供により看護も複雑化していますが、看護の視点を見極め、質の高い看護の実践につながる一助を担っていききたいと思っています。

## 適切な栄養管理

重症患者さんへ適切な栄養管理を実施することで、感染症合併症の減少や入院期間の短縮などにつながるものが報告されています。重症な患者さんに対しては、早期に消化管を使う栄養(経腸栄養)の管理を実施することが大切です。ただし、早すぎる開始や過剰な栄養は病状悪化につながるため、経腸栄養開始のタイミングや栄養投与量などは、患者さんそれぞれの病態に応じた対応が必要です。

本院では、令和2年からSICUに専任の管理栄養士が配置されました。管理栄養士は栄養状態の



まつだ かつや  
**松田 克哉**  
栄養管理部  
管理栄養士



おがさわら ゆき  
**小笠原 夕貴**  
栄養管理部  
管理栄養士

評価、栄養計画の立案、1日3回のモニタリングなどを実施します。適切な栄養療法が治療の一助となるよう、医師、看護師、リハビリテーション技師などの職種と連携して、早期経腸栄養をはじめとした、重症患者の栄養管理に取り組んでいます。



令和5年度 (4月～12月)

SICU  
入院患者数

令和4年度

31.6人/月

➔ 34.0人/月

## SICUでの主な検査や特殊治療

### 動脈圧測定

厳密な血圧管理が必要な時などに、動脈内にカテーテルを留置し、機器を用いて血圧を測定します。

### 中心静脈圧測定

心臓の機能や、血液がどれくらい循環されているか、体の血液になる量などを測定します。

### 人工呼吸器の装着

### 頭蓋内圧モニタリング(ICP測定)

頭の中にカテーテルを挿入し、頭蓋内圧を測定します。頭蓋内圧が高いと、くも膜下出血などの危険性があります。

### 持続血液濾過透析(CHDF)

24時間以上、持続的に血液濾過透析を行います。心臓や血管への負担が少ないのが特徴です。

### 大動脈内バルーンパンピング(IABP)

心臓のポンプ機能が低下した患者さんをサポートする補助循環法の一つです。

### 経皮的心肺補助装置(PCPS)

心肺機能のサポートを行う装置です。ポンプで体外に出した血液を人工肺で酸素に換え、再度ポンプで体内に送ることで生命維持につなげます。

### 肺動脈圧測定(スワンガンツカテーテル)

心臓から肺へ向かう血管(肺動脈)の血圧を測定します。肺動脈圧が高いと、肺への血液循環が低下し、呼吸困難などの症状が現れる場合があります。

上記以外にも、患者さんの状態に合わせて医師や看護師、臨床工学技士など多職種で連携しながら適切な検査や治療を組み合わせ、患者さんの回復に努めています。

# がん相談 Q & A

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族から、さまざまな相談が寄せられます。ここでは、よくある相談の一部を紹介します。



## Q 「セカンドオピニオン」って何だろう？ 主治医に聞いてもいいのかな？

### ① セカンドオピニオンとは？

**A** セカンドオピニオンとは「患者にとって最善だと思える治療を、患者と主治医との間で判断するために、別の医師の意見を聞くこと」をいいます。セカンドオピニオンでは、治療・検査等を行わず、持参した診療情報提供書、レントゲンフィルムや検査データ等の資料を基に、セカンドオピニオンを担当する医師が意見を伝えます。主治医を変えることではありません。

### ② どういうときにするのか？

- A** ・主治医に、診断や治療方針の説明を受けたが、本当にこの治療方針でよいのか不安なとき
- いくつかの治療方針を提示され、どの治療を選んだらよいのか迷っているとき
  - 他に治療法はないのかと考えているとき など

### ③ 主治医に申し出にくいのですが・・・

**A** 主治医との関係が悪くなることは、基本的に心配する必要はありません。患者のことを第一に考える医師なら必ず理解を示してくれます。治療を行うためには、信頼関係が必要です。可能な限り自身の気持ちを医師に素直に伝え、通じ合う人間関係を構築していくのが望ましいといえます。

### ④ 他院で治療中、

### ④ 当院でのセカンドオピニオンを受けたい場合

**A** 予約が必要です。大崎市民病院がん相談支援センターに直接おいで頂くか、お電話ください。

※がん相談支援センターではセカンドオピニオン以外にも、がんに関するさまざまな悩み事や不安などについて一緒に考え、解決のお手伝いをいたします。

大崎市民病院の先生をリレー形式でご紹介します！

## Team "tsunagari" チーム つながり

## Vol. 03

本院は43の診療科があり、現在常勤医師は154人所属しています。第3回は、患者サポートセンターの副部長である福島啓介先生をご紹介します。普段は、皆さんの健康を守るために尽力している先生たちですが、実は意外な一面も・・・？

大豊作の玉ねぎ

ふくしま けいすけ  
**福島 啓介** 診療部長

- 診療科 肝臓外科、内分泌外科
- 主な資格・認定 日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会専門医
- 趣味 家庭菜園、少年野球



当院に赴任してから丸12年になりました。近年の休日は少年野球のサポートに奔走しています。また、自宅の庭で始めた野菜作りも10年になり、夏野菜と玉ねぎの二毛作を行っております。いつかはここ大崎耕土に畑を持つことが夢です。

次回は、消化器内科(胆膵内科)の境 吉孝先生です。

# おおさき メディカルスポット

## Vol.4 臨床工学部

当院は、医師以外の職種のスタッフも、皆さんの健康のために昼夜を問わず医療を提供しています。今回は臨床工学部から、24時間365日、医療機器管理の担い手として現場を支える臨床工学部の業務についてお話しいただきました。

### 医療機器の専門家

### 「クリニカルエンジニア」

臨床工学技士はメディカルエンジニア(ME)やクリニカルエンジニア(CE)と呼ばれる医療機器のスペシャリストです。当院には臨床工学技士が23人在籍しており、透析センター部門、医療機器管理部門、循環器部門、手術部門を全員でローテーションし、全員がすべての業務に対応できるよう日々取り組んでいます。具体的には、血液浄化業務、心臓カテーテル業務、不整脈治療業務、手術室業務、人工心肺業務、集中治療室業務、医療機器管理業務、人工呼吸器業務、高気圧酸素治療業務、消化器内視鏡業務などを行っています。医療機器の安全確保と有効性維持の担い手として医師、看護師、各コ・メディカルと協力し、チーム医療を担っています。

### さまざまな機器で 集中治療に貢献

集中治療室業務では、医療機器の専門家として、集中治療が必要な患者さんへ医療機器の機能が最大限発揮されるように、操作および保守点検を行っています。肺の機能を代行する人工呼吸器の点検や、心臓の機能をサポートする治療(アイービエー)に必要な機器の設定や操作、肺や心臓の機能が限りなく弱くなったときに用いる人工肺と、ポンプを用いた体外循環による治療(エックモ)の管理、腎臓の機能低下や重症な感染症に陥ったときに用いる血液浄化機器や患者さんのモニタリング機器の管理などで集中治療を行っています。



透析コンソール操作



輸液・シリンジポンプ点検

紹介動画もぜひご覧ください

